

【国語・小2・様子をよく見て、くわしく書こう（「おもしろいもの、見つけたよ」）】①

育成を目指す資質・能力

- （知識・技能）身近なことを表す語句の量を増やし、文章の中で使うことができるとともに、言葉には意味によるまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすることができる。
- （思・判・表）語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫したり、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けたりすることができる。
- （学びに向かう力等）進んで文章に対する感想を伝え合い、学習の見通しをもって記録する文章を書こうとする。

ICT活用のポイント

構成メモを並び替えることで、意味のまとまりに気付き、文章の組立てを考えることができる。

生活科で見つけたものの様子がよく伝わるよう、メモをもとに観察記録文を書く。

【つかむ】

前時の学習を振り返り、
本時のめあてをつかむ。

【追究する】

課題を追究するために個で考え、
グループで交流し、考えを確認する。

【まとめる】

本時のまとめ、振り返りをする。

事例の概要

○作文の構成メモの組立てを考える過程で、デジタルホワイトボードの付箋機能で作成したメモを並べ替えることを通して、意味のまとまりに気付き、組立てを考える。

【事例におけるICT活用の場面①】

○デジタルホワイトボードの付箋機能で作成したメモが、観点ごとになるように並び替えたり自分が伝えたい順序になるように並び替えたりする。

【事例におけるICT活用の場面②】

○友達と交流し、付箋機能で作成したメモの内容を修正したり、さらに付け加えたりする。

【国語・小2・様子をよく見て、くわしく書こう「おもしろいもの、見つけたよ」】 ②

【事例におけるICT活用の場面①】

付箋機能で作成しているため、動かしやすく、修正しやすい。観点ごとの色になっているため、視覚的に捉えやすい。同じ観点であることが分かりやすい。



- デジタルホワイトボードの付箋機能に、自分が見つけたものの特徴を書く。
- 特徴の観点「触った感じ」橙色、「色」桃色、「形」青色、「大きさ」緑色、その他は黄色の付箋に書く。
- 同じ観点のものは縦に並べ、語句のまとまりになるようにする。
- 自分が伝えたい、おもしろいと思う順序に並べる。

【活用したソフトや機能】

・デジタルホワイトボードの付箋機能

【事例におけるICT活用の場面②】



- 自分が並べたものを提示して、友達と交流する。
- 「同じ観点のまとまりになっているか」、「書かれている特徴の観点はあっているか」を確認する。
- 友達の意見を踏まえて、順序を変えたり、メモの内容を詳しく付け加えたりする。

自分の考えと友達の考えを比較・検討しながら修正したり、追加したりすることで自分の考えが深まり、伝えたい組立てを考えることができた。